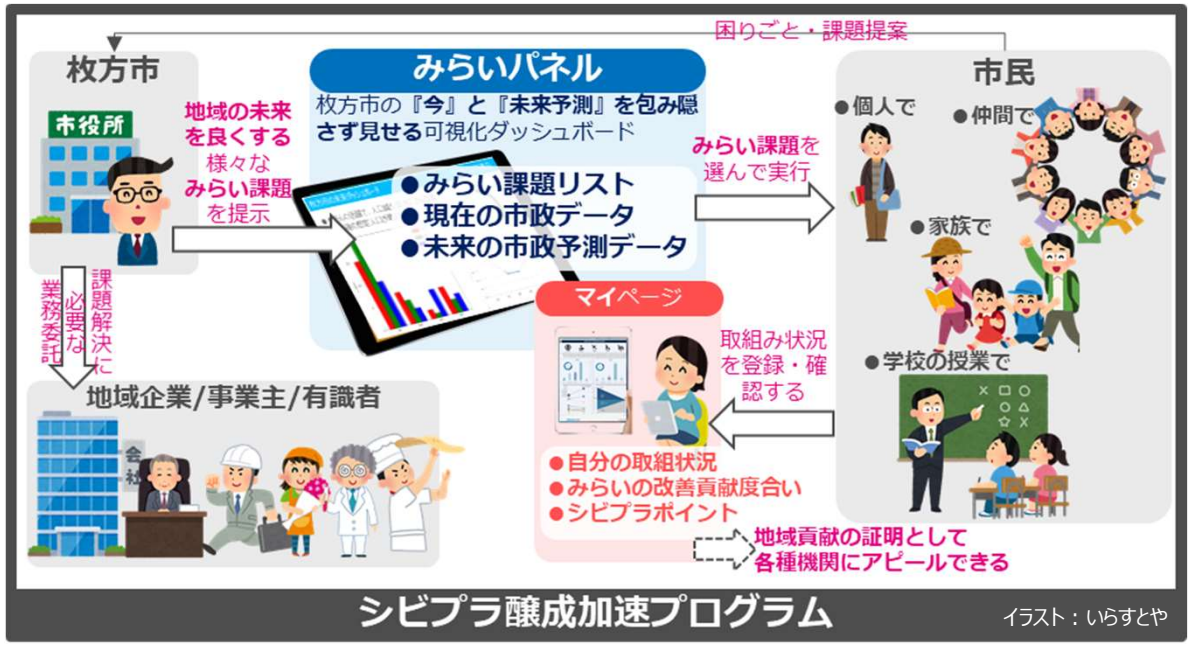


**「シビプラ醸成加速プログラム」でシビックプライドの醸成を加速し
行政と市民の相互努力による共助社会を創ります**



サービスの概要

「シビプラ醸成加速プログラム」は、市民のシビックプライドの醸成を加速し、行政と市民の相互努力による共助社会創り出すことを目的とした地域創生プログラムであり、地域貢献活動サポートWEBサービス『みらいパネル』を通して市民に展開される。

みらいパネルの機能

- 機能①：枚方市の今と未来を良くするために設定された『みらい課題』掲示板があり、市民が課題解決に参加できる
※みらい課題＝地域の未来をよくするための大小さまざまな地域の社会課題。有識者や市民の提案・国政・社会情勢など様々なソースをもとに枚方市が解決しやすいように整理、分解して掲示する
- 機能②：今と未来の市政データを確認できるダッシュボードがあり、市民は包み隠さない将来の枚方市を確認できる
※現状と未来予測を「見える化」することで、市民は意識が高まるきっかけを得られる
- 機能③：自分が取り組んだみらい課題の進捗状況や貢献度合いがわかる『マイページ』がある
※自分の行動の成果が「見える化」されることで、市民の参加意欲が高まる
- 機能④：市民同士が交流や情報交換するためのSNSがある
※交流により、参加継続意欲や課題解決に対する想いや知見が広がる

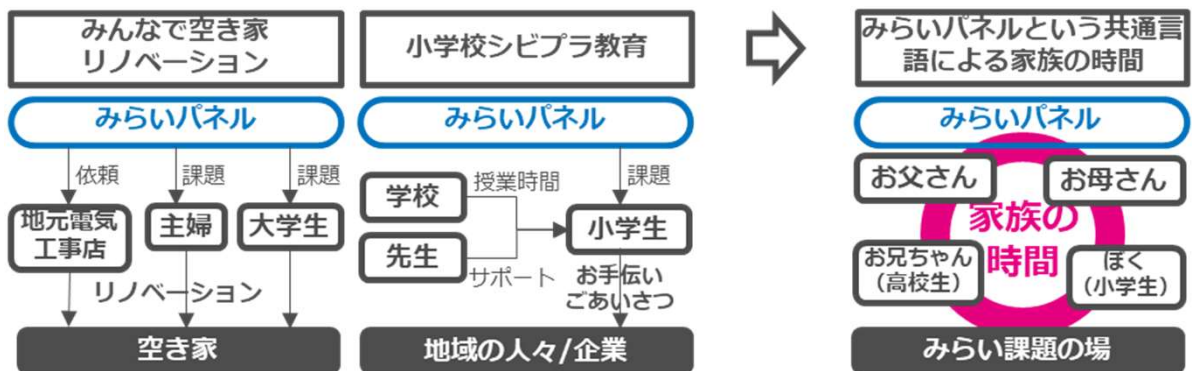
みらい課題の例

- 例①：元気にあいさつしよう／街を掃除しよう／読書しようなど、小学生でも達成できて人格や情緒を養う
- 例②：田植え／空き家リノベーションなど、大人数で大規模に取り組んで地域の問題を改善する
- 例③：枚方市で起業する／市民を雇用する／文化産業の跡継ぎになる／枚方家具団地再生など、地域産業に貢献する

市民が得られるもの

市民は、人生経験・スキル・人脈・将来の選択肢・社会的評価を得ることができる。また、実績はマイページより対外的に証明することができるので、就職活動や企業のCSRに活かすことができる。さらに今後は、受験内申点や各種行政優遇などの制度繋げることができる可能性がある。

【利用シーンの例】



- 例①：空き家リノベーション・・・市民と業務委託された業者が空き家のリノベーションに取り組む。市民はスキル・経験・社会的評価を得る。枚方市はスラム化の防止、治安維持ができ、街の魅力アップを得ることができる
- 例②：小学校シビプラ教育・・・小学校が授業時間を提供し、先生は生徒をサポートする。生徒は自分で課題を選択して取り組む。地域の人々や企業のお手伝いをする事で、人生経験・将来の選択肢・シビプラのマインドが醸成される。枚方市は生徒から、未来の可能性や文化の担い手を得る
- 例③：家族の時間・・・家族全員がみらいパネルという共通言語を使って豊かなコミュニケーションができる